

## 西伊豆健育会病院 医事課 太田枝里

- 功 績** IT担当であるが、医事業務・受付・外来クラーク業務など多岐にわたり活躍。  
医事課より他部門へ4人の転籍、BSC間接部門の生産性の向上に寄与。  
医事部門の業務改善に大きく貢献した功績。
- 推 薦 者** 医事課主任 田中沙由里
- 推 薦 理 由** 太田は、今までのIT部門の業務に加え、医事業務・クラーク業務も担当し、医事課は少ない人数で今までと変わらない業務ができています。今回の事務部門の業務改善において、なくてはならない存在でした。医事課より他部門へ4名転籍し、BSCにおける間接部門の生産性向上に大きく寄与した太田を理事長賞に推薦致します。

### 内 容

---

太田は、入職以来、IT担当として、看護部ネット講習の管理・電子カルテ・ネットワークの管理保守等の業務を行っています。また、医師を含めた新入職員、毎月変わる研修医に対し、電子カルテの使い方、帳票ルールのレクチャーも行ってくれています。

その他、各部門からのエクセル・ワード・パワーポイント等パソコン操作に関する問合せ、資料作成時の入力代行等、各部門の業務を円滑進めるために緑の下で様々なサポートを行って来ました。

今回、事務部門の業務効率化推進に伴い、医事課から他部門へ4名の職員が転籍し、IT部門が医事課内へ吸収されたことにより、彼女はIT業務に加え、医事課職員として外来受付業務や外来クラーク業務も担当することとなりました。

慣れない業務にもかかわらず、彼女は医事業務を必死で覚え、また、返戻減点の低減に向けたTQM活動においては得意の技術を活かし、パワーポイントや見やすいグラフの作成など大きな戦力となっています。患者さんに対しては言葉遣い、態度に注意し丁寧な対応を実践しているため、何年も受付業務をしてきたベテランの職員にとっては、初心にかえる、そして襟を正す良い機会となりました。

彼女を含め医事業務・受付業務・クラーク業務・IT業務などをそれぞれに担当していた職員が業務の枠を超えワークシェア、他部門からの業務をタスクシフトすることで、より無駄のない業務を考える機会と他部門理解に繋がりました。また、BSCにおける間接部門の生産性も6.3%→5.7%と低減することができ、事務部職員のモチベーションの向上にも繋がっています。

IT担当として入職したにもかかわらず、医事課の様々な業務、そして慣れない業務に嫌な顔一つせず前向きに取り組む太田の姿は、事務部門業務改善の大きな力になっています。